

各地区業況アンケート結果（2019年7月調査分）

（2019年7月29日）

全国鉄鋼販売業連合会

7月26日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ79名の回答があり（回答率53.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 前年同月比数量減少6割強

問1】貴社の6月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	4	7	19	30	19	79	80
比率	5%	9%	24%	38%	24%	DI-67	DI-51
売上金額/前年同月比	6	9	23	26	15	79	79
比率	8%	11%	29%	33%	19%	DI-44	DI-33

2. 黒字企業減少し44%

問2】貴社の6月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	15	20	26	13	5	79	78
比率	19%	25%	33%	17%	6%	DI+34	DI+35

3. 全向け先で更に減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て7月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	3	38	14	3	59	-25	-25
民間建設向	1	10	34	16	6	67	-24	-9
自動車向		1	29	7	2	39	-26	-10
その他需要家向	1	7	34	18	4	64	-27	-25
仲間取引		3	30	24	6	63	-52	-28
計	3	24	165	79	21	292	-31	-20
比率	1%	8%	57%	27%	7%			

4. 秋口も期待薄

問4】貴社における向う8月から10月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	25	36	11	5	78	78
比率	1%	32%	46%	14%	7%	DI +8	DI +10

5. 全品種D I 値マイナス過剰ぎみ傾向へ

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	品種別	A	B	C	D	E		7月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-7	7	-3	3	0	0	19	11	0	0	6	0	-7	鉄筋用丸鋼		1	23	5		29	-14
13	13	0	6	15	7	0	0	-3	0	-6	-3	-16	構造用丸鋼			23	5		28	-18
-6	0	-9	-3	0	-3	3	0	-3	3	-8	-8	-9	平角鋼			28	6		34	-18
10	9	9	3	18	41	41	36	15	11	-8	-24	-22	H形鋼			21	12		33	-36
59	67	76	81	100	125	89	120	85	57	25	12	4	コラム		2	20	5		27	-11
0	-9	-8	-3	-11	5	3	-6	-11	-8	-3	-10	-14	小形山形鋼			33	6		39	-15
-3	-14	-11	-8	-11	3	3	-6	-14	-8	-15	-15	-16	中形山形鋼			32	8		40	-20
-3	-6	-11	-3	-11	5	0	-9	-11	-3	-13	-19	-17	溝形鋼			30	9		39	-23
-11	-3	0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	-3	-12	-10	軽量形鋼C形			28	4		32	-13
-10	-11	-9	0	-5	-5	-5	0	-9	0	-12	-10	-5	軽量形鋼広巾			21	1		22	-5
13	8	4	7	12	8	12	0	-3	0	-21	-32	-34	冷延薄板			17	13		30	-43
12	11	-3	-3	0	17	14	16	-3	-3	-21	-28	-34	熱延薄板			15	15	1	31	-55
27	14	3	6	3	0	8	0	-7	-10	-32	-43	-45	表面処理鋼板		1	15	16	1	33	-52
18	11	-3	-3	-10	20	34	16	3	0	-25	-39	-38	酸洗鋼板		1	19	12	2	34	-44
16	7	5	7	7	20	20	18	7	0	-13	-19	-33	中板			21	18	1	40	-50
14	10	23	31	41	49	45	36	15	17	0	-10	-29	厚板			21	15	2	38	-50
0	0	11	25	13	33	19	6	19	5	0	-13	-12	極厚板			15	2	2	19	-32
-3	3	3	-3	-7	0	6	-6	6	0	0	0	-14	縞板			25	6		31	-19
-12	0	-7	2	3	16	3	0	-5	-10	-8	-18	-15	中径角			26	11		37	-30
-6	10	2	-5	0	3	8	13	2	2	-8	-8	-13	ガス管黒			32	6		38	-16
-12	3	-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	-13	-19	-5	構造用鋼管			30	6		36	-17
5	5	2	5	5	14	14	10	2	1	-9	-15	-19	計	0	5	495	181	9	690	-28

6. 需要低調、在庫過多、市況弱含みで流通は我慢の時期

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	一般形鋼が入荷好調で在庫調整が進まない。再販価格も東鉄の価格発表後、弱含みとなっている。
	B	東鉄の値下げ、スクラップの続落にかかわらず、北海道の丸棒市況は横ばい。下げ雰囲気の中、メーカー姿勢に注目が集まっている。
	C	異形棒鋼の安売りが目立ってきた。需要は増えていないが、マーケットを作るという意思を持って販売してもらいたい。
東北	A	丸棒を取り扱う新規物件が少ない。価格は下落傾向で競合物件が多くなっている。
	B	建築用外壁材アスロックの入荷不調により、外壁工事の遅れが目立っている。連れて錆止めアングルをはじめ金物出庫が大不調に陥っている。材料が入らなければ仕事ができない。そのため中小工事店の倒産が懸念される。
	C	連休明けから荷動き低調が続いている。先の見積りはあるものの、現状は厳しい。
	D	積算物件も出てきたので、多少期待が持てるかもしれない。
新潟	A	ファブは受注残を持っているが、建築需要は停滞気味。産業機械、暖房関連もいまだ動きが鈍い。自動車はメーカーや車種の間で格差がある。需要に盛り上がりなく、価格は横ばいで推移している。
	B	例年であれば、需要が増えていく時期だが、静かな7月となっている。苦労して販売価格の転嫁を行ってきたが需要の停滞とともに価格の下落が始まるのではないかと心配である。
	C	7月以降、さしたる盛り上がり感なし。東鉄の値下げ問題も微妙に今後あるのではないかと。
	D	新規の地元案件が少なく、倉出しの荷動きが悪い。単価は弱含みで、先行き不安である。
	E	6月出件予定の物件が7月にズレ込んできているがお盆まで続くのではないかと。秋になれば多少物件が出てくると思うが、その先は見えない。
	F	自動車、作業工具は堅調、それ以外は良くない。7月の動きは全般的にかなり低調。
	G	高力ボルト不足の影響なのか需要は停滞気味である。先の仕事が見えない。さすがに秋以降になれば状況は変わると思うが、現状を考えると不安である。
神奈川	A	工作機械向けの需要は落ち込んでいるが、引合いはきている状況。下期に期待している。公共建設、民間建設は安定して受注を頂いている。
	B	同業者販売が相変わらず良くない。月を追うごとに引き合いの中身も小口になっている。
	C	実需はそれほど強くない。上期までの仕事はどうか見えるものの、その先が見えない。業界より仕事量に濃淡が出ている。
東京	A	店売り向けに対しての値上げと弱含む市中価格のねじれが不安である。
	B	造船向けの厚板は低調。好調だった半導体向け薄板も半導体の落ち込みとともに動きが減少している。鉄骨関係向けの薄板は好調を維持している。建築向けに関しては秋以降に少し動きがあるような話もあるが、現状は不透明となっている。
	C	(酸洗鋼板) 国内高炉と海外高炉と電炉の値差が広がることで、売り方がより難しくなってくる。値上げできない分、キープに努めているが値下げを提示している業者が出てきた。値崩れを懸念している。

東京	D	(鋼管) 例年の4～6月期に比べ低調。7月に入り、やや回復基調だが、前年比横ばい推移となっている。
	E	6月の販売は量、金額ともにここ2年で最悪であった。5月から見ると増加したが、レベルは低調。前年比減。7月販売実績は悪かった5月と日割りでは同レベルであった。薄板3品在庫が5月末462.6万トン。在庫過多の状態が解消するまでしばらく販売は上がっていかないだろうと考える。2～3ヶ月は悪い状態のままだろう。
	F	(構造用丸鋼) 需要低迷。特に店売りについては工作機械を含む産業機械、建設機械の落ち込みの影響が大きい。特殊鋼メーカーの一部を除いて納期改善傾向で中在庫も増加傾向。市況も大勢は横ばいながら、スポット物件主体に弱含み傾向。
	G	(鋼管) 首都圏の建設土木向けは4～6月悪かったが7～9月は忙しくなる見通し。7月より急速に回復中。
静岡	A	大手鉄鋼流通の担当者は現在の販売についてファブの山積みの高さに不安の声は皆無で羨ましい限りである。外的要因(メーカー、販価、市況、ゼネコン、スクラップなど)には全く関心が及んでいない。地元知事と隣県知事とのJRリニア新幹線工事に関するバトルはなぜか理解できない。公共工事減少の現状がラップする。鉄鋼商社案件は当然のことながらゼネコンmatter、リアルエステートmatter、ファブmatter、いずれも相変わらず大型物件の処理を取りまとめている。特急の工事に追われ、利益なき繁忙は中小零細業者の図式に変化ないが、このあたりに利益確保が必要だと思う。2022年～23年まで鉄鋼業界は安泰かどうか誰も予測できない。
	B	市況は昨年末より悪化している。特に薄板は市中にあふれ、安価で販売してくる業者が多くなり、販価を下げて売れない状況。建築は一部動き出しているが、部材はロール対応品が多く、倉出しの荷動きは低調である。今後、在庫が積みあがれば安値販売の懸念は高まる。
石川	A	6月は特に目に付く変化はなかった。令和ボケではないが、何かとピリッとしんない。刺激が必要な状態である。東鉄の下げ発表もインパクトが感じられなくなった。トランプのハッターも化けの皮が剥がれてきた。しかし、次の大統領も今となっては続けてほしい。民主党ではUSAが弱くなる。
	B	価格が膠着した時に他社より値段が高いは、買い手の常套句だが、古典的なこの言葉が効いてくる。意図的に一定期間、注文を止めて慌てた営業マンに他社が値段を下げたからと罍をかけた荒業も確認した。これを繰り返せば、価格はガタガタにされてしまう。談合は御法度かもしれないが、消費税の利益ばかりが保護されて納入業者が事実上反することでフラフラにされるのは納得がいかない。相手次第では協議も必要だと思う。市況は共有財産ということを今一度、皆で確認し慎重な行動をしてほしい。他社より安い価格を提示して一時注文をとっても結局その後どうなるかは皆がわかっている筈である。
富山		全般的に減少傾向。ヒット商品部品、大型開発受注分のみ多忙である。トラックの便数は相変わらず少ないが、積荷量も減少してきている。
愛知	A	(薄板) 極端に悪くないが、雰囲気は停滞感が強い。自動車はそれなりに動いているため下支えしている。それにしても秋に向かってどう動いていくか心配である。
	B	大手ユーザーの設備が少ない。自動車向けパレットが少ない。ファブの山は高いが工期遅れがでると仕事なくなる時期がある。RC案件は少ない。

愛知	C	(プロパー) 自動車は設計変更の影響で数量ダウンが続いている。運送、消耗品費など価格転嫁ができず、吸収している状況。(集購) T社の計画の山は高いが、足元、大きな影響は感じられない。車種によりバラツキあり。小ロット品をいかに価格改善するかが急務である。家具、陳列の大きな案件の話がなく、相変わらず厳しい状況。そのためか在庫過多な状況が続いている。
三重		偶然にそのタイミングだったと思うが、6月17日の東鉄の値下げ発表以降、荷動きが非常に悪い。半月以上も回復していない。それに伴い、市中価格も弱くなる一方である。一次加工は、以前から聞いているものが出てくるだけで、新規案件がない。毎月の中にも多少の山谷があるものだが、今回の谷は深い。
岐阜	A	忙しいユーザーとそうでないユーザーが存在するときは悪い時である。すべてのユーザーが忙しく見えるとやっとな普通の売上である。もうこなせないくらい受注がくると本当にこなせない。人手不足ではあるが常に新人が多く、頭数は合っている。教えるコストがもったいない。
	B	中小の建築案件はボルト不足の解消ができなく案件も少ない。電炉メーカーの値下げ発表からゼネコンからの一部安値も聞かれるようになった。産業機械も大型機械の受注が減少してきている。
大阪	A	荷動きは昨年10～11月がピークで今年に入り、減少が顕著になってきている。貿易摩擦、ハイテンションボルト不足などが要因である。7月に入り、少し荷動きが回復してきているが、採算面は悪くなってきている。しばらく厳しい状況が続くものと思われる。
	B	戸建住宅、宅地造成は消費税増税を睨んで好調だが、鉄骨造の中小物件はハイテンションボルトの不足からか荷動き、また先行きが全く読めない状況が続いている。スクラップ市況の低迷、某メーカーの値上げにより、全般に様子見、静観といった状況が続いており、重苦しい雰囲気が高まったままである。
	C	荷動きは悪いが、どうにか価格は維持できている。高炉の値上げ意向もあり、足元の荷動きだけである。価格を下げることはやりたくない。
兵庫		兵庫県神姫地区は建設機械のみ好調。そのほかは軒並み不調。需要動向に反する高炉の値上げアナウンスに憤りを感じる。
岡山		盛り上がりのない受注状況。水島コンビナートの大きな定修はみえていない。タンク類が鉄からステンレスに変わりつつある。JFE関連の修繕は程々にあるようだ。
香川		高力ボルトの不足解消がなされていて、7～8月は相当厳しいと思われる。夏場、土木は不需要期になり、8月は特に実働日数も少なく心配である。
北九州		東鉄の建値下げにより、先安感がある。特約店は当用買いに徹している。市況は弱含んでおり、足元の荷動きも低調で販価維持に苦慮している。